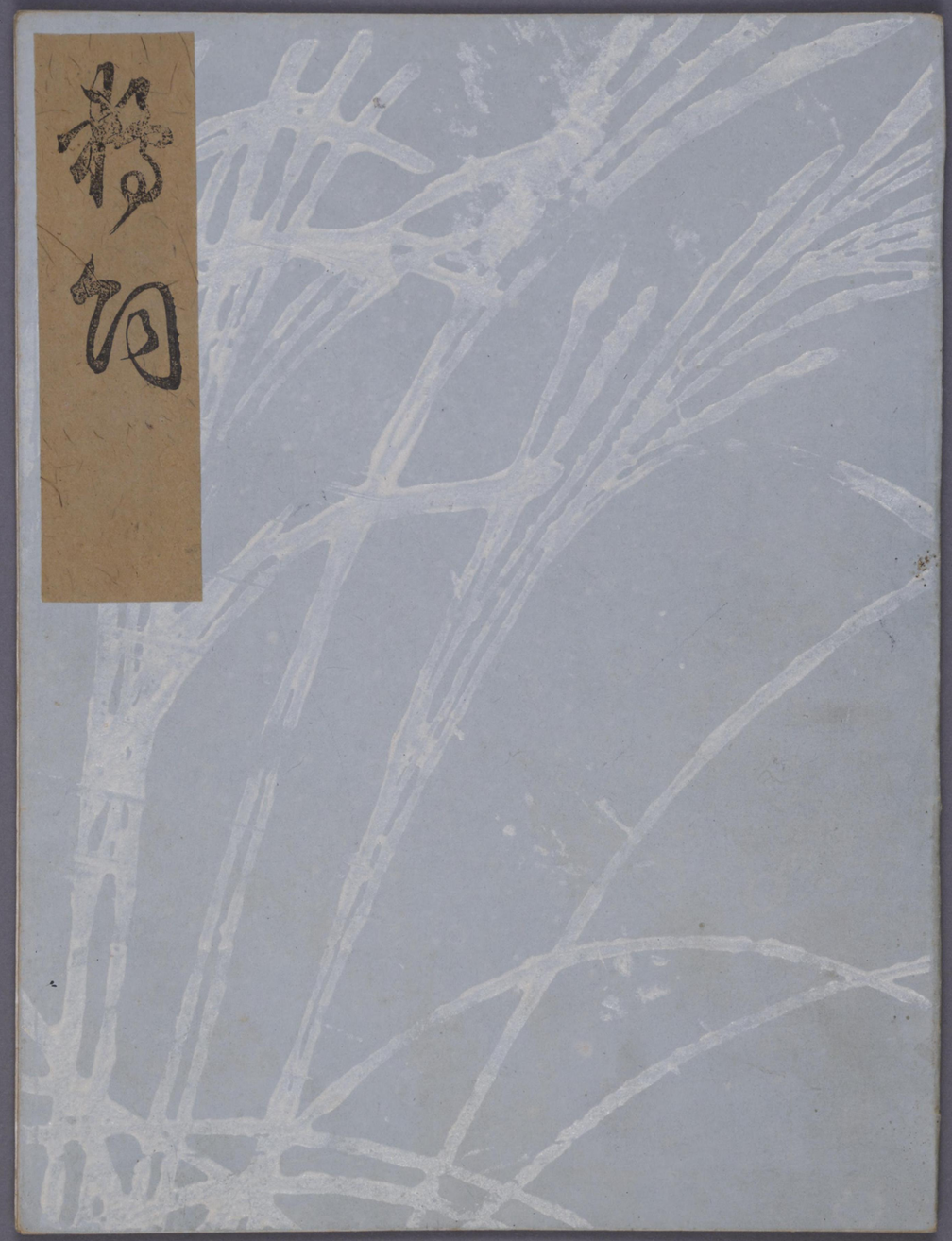


[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-001

国立国会図書館

半詞

是ハ安房乃清澄よりも出たる僧
よりてひ彩以まゝ甲斐國をこれ
以ほと小ぎ度甲斐西行師と心
さしてひ　サシ　川末以清澄白波の
安房乃清澄を出てゞ淵乃波里
水下くゝ山　上三の　やはまき呆ぬ家旅
安ゝく拾家才な秋を恥ゝ秋は

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-002
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ゞ、、、

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-004
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-005
国立国会図書館

あくは（ロキツヒ）以るゝ中ゝ此人を見て
思ひしたるす乃は此二三ヶ年
先に此川下岩落と中所を通る
候ひしにゞやまゝ乃鶏ゝひに
行逢ゝ程に稱ゝなり乃殺生ゝ
由中てゝんゝたゞにもとや思ひ
ゝ世ゝ所に清まてゝかんまゝ一夜

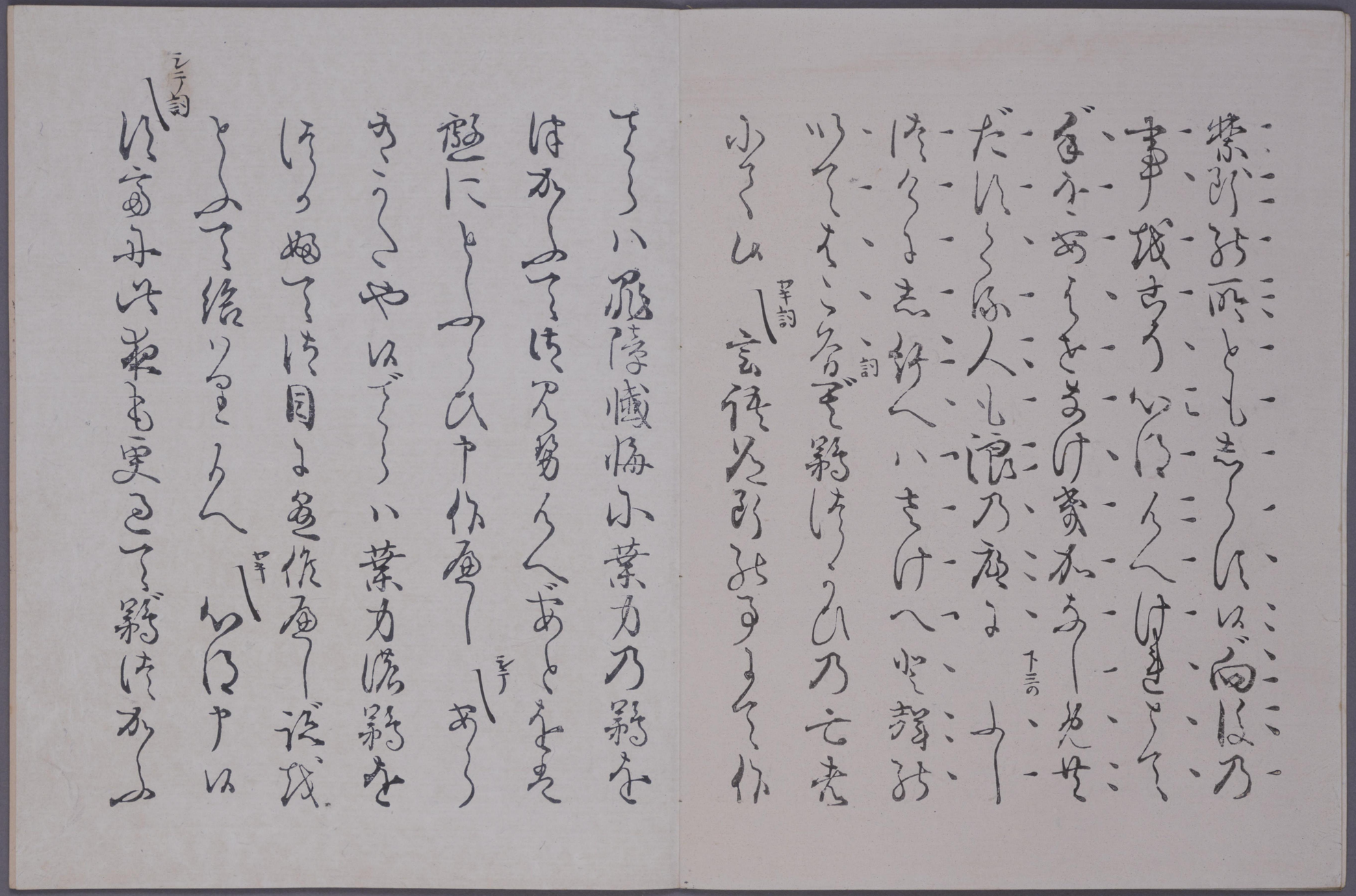
ましゝ候接してはひしよ
（シテ）扨ハ其時乃侍候ゝて渡る作ゝり
（ロキツヒ）さ世ゝ其時乃侍小ゝは（シテ）なゝ
其鶏ゝひゝ首世所し見遂て
ゝん（ヤキ）ゝ殺ゝ何ゆへ世ゝ見
あわてゝゝ（シテ）ハ清しなゝ
此わさゆへ世所し見なわて作

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-007
国立国会図書館

ぞ所乃ち稜うて清て歳うを卩
は面し隠をとふて清や星りへ
ヤキ
心清中ひ　シテ物語　持此生海川堂中冬
上下三里り里ハ望殺生禁所乃
所やぞ作は岩落小鶏清うひハ
おほしよ明くし此所小志乃ひ
上清て鶏を清かふ小見ま老鶏

志わきこの所がまさ我見殺生堂
たく見し小ぞ鶏を老申め小も
知はしてぞある夜世ひ上清て
鶏を清かふ祝しふ人々ほ堂
よわづ殺多生鶏程り可うを
がまさ我こ詠を堂云あへ星ぞ河
上ヤル
左右乃年をあるをがし海殺生

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-009
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-010

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-011 国立国会図書館

上ロンキ地
あるこうしたれ法すやぞ茶落に沈せ
悪人を仏所に送るのたまふなれ
王瑞れ乃あらたさよ　シテ上　法花ハ
利益ぬり幾由へ魔道に志法せ
聖教をひらくり世ゐ為に来るのたれ
上地　実あるこうしたまちうひの所ぬの
一字ハ扨以る　シテ上　ゐ然ハ聚義乃

宮葉にて下ぬなれ法ハルヘと沈きこれ
上地　鍾山ハなとや如付くせ　シテ上　ゐ然
王義乃知名にて　上地　二ほもなく
シテ上　三法もなく　上同　たゝ　一ハル　一示新連に
よりまして下ぬ落に沈見果てうこうひ
ゐ之幾悪人乃仏果をえせすハ
此鍾乃力なれや　下内キリ　こゝ然を見

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-012
国立国会図書館

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-013
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-014

国立国会図書館

[謡本] 鵜飼 1冊 WA7- 009-015
国立国会図書館